

木村 健 悟 議員  
(未来)



飼い主に恵まれない犬、猫を増やさない為に。現施設の更なる充実、利便性の向上について

問 飼い猫の不妊、去勢手術費の一部助成の情報が行き渡っていない感じがするが、区の考えは。

答 区は人と動物との共生社会の実現を目指し地域における取組を推進している。助成制度について区ホームページやポスター掲示などにより周知を図ってきた。今後も効果的な周知・啓発に努めていく。ちよっとした餌やりが多頭飼育につながることを知らせるべき。保護される動物を増やさない取組について、区の方針は。

答 野良猫への餌やりは、情報提供時に、職員が現場へ行き餌やりをしている方へ直接お声がけをし、飼主のいない猫がこれ以上増えないよう個別にお伝えしている。

問 ペットを飼うのは、楽しいことばかりではない。ペットを飼う前にリスクを知らせる啓発を。

答 ペットの飼い主に対してだけでなく、これから飼おうとしている方に向けても、マナー向上について周知・啓発に取り組んでいる。今後は民間企業との連携も含めて検討していく。

西村 直子 議員  
(自民)



子育て施策等の区の方針について

問 区が子ども施策を推進することについて、区内の現役世代や高齢者世代など、幅広い世代の理解をどのように得ていくのか。

答 子育て・教育にかかる経済的負担の軽減を進めることは、子育て世帯の可処分所得の増加等につながり、地域経済の活性化、税収増という形で還元される。結果として、高齢者施策を含む各施策を充実するための財源の確保にも寄与する。

高齢者施策について

問 高齢者の食の支援に関して、企業と連携した実現に向けて検討を。

問 次年度、骨粗鬆症検診の試行実施を行う。施行後早期に男性や全ての高齢者に拡大していくべき。

答 高齢期の骨折等の予防は課題。試行実施の結果も踏まえ、国民健康保険加入者以外にも対象者を拡充し、区内の各医療機関での本格実施に向け検討する。

問 不登校対策について

答 外部資源の活用、一歩踏み込んだアウトリーチ型支援の拡充を。

問 HEARTSのより早期の介入、不登校を未然に防ぐ体制充実について検討する。

答 マイスワール八潮で昼食提供が開始する。学校に通えていれば給食費無償化の恩恵を受けられるのにという保護者の思いもある。不登校の子どものための食の支援を。

問 不登校児童・生徒が外部とつながることが大切。どのような支援・アプローチが可能か検討する。

答 こども家庭庁で学びの多様化がでさる環境をどうつくっていくのかが重要。区内のプレーパークや児童センターと連携し、回復期に子どもたちが元氣を取り戻す取組を。児童センターでは不登校児童の積極的な受入れも行い、自分らしく成長できる居場所等の充実を図る。

安藤 たい作 議員  
(共産)



教師不足を解消し、探求と協同で学ぶ楽しさを全ての子どもたちへ

問 病休の教員の数は。担任が不在となり管理職等が入ったケースは延べ何クラスあったのか。

答 令和7年2月時点で、病気休職に入った教員数は37名、担任が不在となり管理職が入った学級数は延べ16学級となっている。

問 区独自教員をさらに増やし、現場の教員不足を補うよう求める。

答 令和7年度は6名を新規に採用し、段階的な増員を図っている。

コミュニティバス大崎ルートを速やかに運行し、住民の交通権保障

問 住民の交通権保障の立場から、大崎ルートの速やかな運行を求める。

答 現在の大井ルートの検証結果等の状況を見極めた上で検討する。

行き詰まりが明らかな「固定化回避検討会」では区民を守れない羽田新ルートの撤回を求めよ

問 昨年末の固定化回避検討会で国から示された案は、A滑走路ルートの固定化と考えるが、いかがか。

答 国は、ルート案が具体的に決まったものではなく、固定化回避に向けた取組を継続するとしている。

問 超高層再開発の推進で苦しむ住民の声を聴き、まちづくりマスタープランは見直しを

問 区長は、再開発に反対する住民と会い、何を感じ、何を課題と捉えたのか。これからも引き続き住民の声を区長自ら聴くことを求める。

答 まちづくりの主体は、そこに住む地域住民であるとの考えを改めて強くした。今後も住民の様々な声に耳を傾けていく。

問 超高層再開発を進めるまちづくりマスタープランは見直しを求める。

答 令和5年に改定しており直ちに見直しには至らないが、今後の改定に際しては住民の声にしっかり耳を傾ける区の姿勢を反映していく。

(その他の質問)

- ・能登半島地震から1年、阪神淡路大震災から30年
- ・教訓を生かし防災対策の強化を

やなぎざわ 聡 議員  
(無所属)



介護の話

問 ①訪問介護の報酬が引き下げの影響もあり昨年の介護事業者の倒産件数は過去最多。介護事業者を人材確保の観点で支援する取組として、事業者と介護従事者をマッチングする「福祉人材バンク」を創設しては？②年に一度でも区長と中小の介護事業者との懇談会を開催し現場の声を聞いてくれないか？③来年度予算の新規事業に外国人介護人材の就労支援を盛り込んでいるが、人手不足を低賃金の外国人労働者で補うことは賃金の下降圧力となり、この国で働く介護従事者を低賃金競争に巻き込むルールに則り来日する技能実習生等に一切の罪はないが、この国で働く介護従事者の処遇改善を最優先にする姿勢を示してほしい。

問 ①介護の周辺業務等の体験支援や「ふくむすび」で発信をしている。

②ヒアリングを引き続き実施する。

③人手不足の解決策として外国人人材を積極的に受け入れている。

商いの話

問 ①昨年の倒産件数は1万6件と前年比15%増、11年ぶりに1万件を超えた。物価高が落ち着く気配はなく、倒産が危ぶまれる職種は多岐にわたる。地元の商店街、区内の中小零細企業やフリーランスの経営状況はかつてないほど深刻な状況に陥っている。区は現在の景気を悪いと考えるなら大胆な対策を講じるべきと考えるがどうか？

②インボイス登録による事業者への影響を把握し、きめ細かな支援に繋げるため区独自の調査を早急に実施すべきと考えるがどうか？

答 ①景気は緩やかに回復しているが先行きに懸念材料もある。プレミアムつき区内共通商品券事業や、設備更新助成を実施している。

②国が行う調査(時期は未定)の結果や国の動向等を把握していく。

(その他の質問)

- ・ルート直下にお住まいの6割強が影響を受ける羽田の話
- ・命の話